


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 31 年 2 月 14 日	受理者印
午前 2 時 55 分 受理	
午後	

議会名	平成 31 年 第 1 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 17 番	氏名	岡村恵子
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1、出流原PA周辺開発について (1) Aゾーンについて	<p>①昨年12月議会の答弁では、現在基本計画を策定しているAゾーンについて、造成等の整備計画であり、事業の内容、時期についてはこれからという事であること、そして特定の人々の利益という事ではなく、最終的には市民のためになると述べているが、そう述べる根拠は何か。</p> <p>②平成31年度予算には、この事業に4,775万5,000円計上されているが、どのような内容であり、今後どのような経緯をたどる計画か。</p>		
(2)新たな企業立地の必要性を述べていることに関して	<p>①市の政策では、新たな企業立地や市内事業所の事業拡大ニーズに対応するためには、産業用地の創出が喫緊の課題であるとしているが、そのニーズ把握の根拠は。</p> <p>②ニーズがあるというのは、製造業なのか輸送業なのか。</p> <p>③佐野田沼インター産業団地、佐野インター産業団地について、どれだけ市内の人が雇用されているか把握しているのか。</p>		
(3)構想図ゾーンB・C・D・E・Fに関して	<p>①さらに前議会の答弁では、A以外の5つのゾーンに関して、開発の見通しがあるのかという問いに、「本市がてがけるとすれば、この地域と決定してきたわけですので、確証はないというふうなことではございません。やはりここは開発することが、本市にとって現時点において非常に可能性が高いと判断した」ということを述べているが、その根拠は何か。</p>		

2、国民健康保険税について

(1)平成31年度予算について

- ①平成31年度の予算を作成するにあたり、県へ支払う納付金が30年度より増額になっているが、その要因となるものは何か。
- ②本市において保険税値上げに結びつかない配慮をどのようにおこなったのか。

(2) 国保税引き下げについて

- ①国民健康保険税は、財政的基盤の弱い人が加入しているのに、協会けんぽ保険料（個人負担分）と比べ、約2倍の負担であるが、医療保険間の平等という点で改善が求められていると考えるがどうか。
- ②国保の財政基盤強化のために、全国知事会では、国に対し1兆円の要望を出しているが、市当局としてはどのように考えるか。

(3) 均等割・平等割について

- ①誰もが払える国保税にするために、均等割、平等割をなくして協会けんぽ並みに引き下げるべきではないのか。
- ②全国の中には、18歳未満の均等割について減免制度を作るなど負担軽減を図っている自治体がある。本市でも減免制度を行うべきではないか。

(4)滞納世帯の資格証明書発行と財産差し押さえについて

- ①資格証明書発行世帯は減少しているが、限りなくゼロに近づける努力をするべきであるが、今後どうおこなうのか。
- ②財産差し押さえについて、『国税徴収法（基礎編）平成30年度版』には「猶予処分」について、「滞納処分をすれば、滞納者の生活を著しく窮迫させる恐れがあるとき」としているが、このことを考慮して業務をおこなっているか。

3、民間所有のブロック塀改修について

- ①国・県では、危険な民間所有のブロック塀を改修するときに補助をすることを決めたが、市としても補助制度を創設するべきではないか。